

昭和興産

昭和興産は3カ年中
期経営計画「SK-CHAL
LENGE8」を推進
している。計画初年度と
なった2021年度(12
月期)は予算を達成、今
後も既存事業の拡充に加
え環境関連や情報・通信
など5つの成長分野を強
化することで中計の目標
を達成する。

同社の2021年度の
業績は主要4部門すべて
が好調に推移し増収増益
となった。合成樹脂は電
線、通信ケーブル、自動
車関連など幅広い分野で
生産が回復し伸長、化学
品も洗剤原料用途の界面
活性剤の需要増で大幅に
伸びた。産業資材はアル
ミ部材の取り扱いが好調
で、情報電材も高機能接
着剤や洗浄・剥離剤など
が増加した。その結果、
好調だった19年度を上回
る業績へと回復した。
中計では海外関連ビジ
ネスの強化、既存事業基
盤の強化、成長分野への
挑戦の3項目を柱に、創
立80周年の23年度に国内
外売上高合計880億円の
達成を目標としている。

5成長分野で目標達成

重点戦略分野と位置づ
ける環境関連、情報・通
信、メディカル・ヘルス
ケア、国内インフラ、モ
ビリティは、5テーマと
も、すでに事業の芽が出
てきていることに加え、
今後のさらなる成長が見
込まれることから、継続
して注力していく。

新ビジネスのなかで環
境、国内インフラの両面
に関わる商材として展開
しているアスファルト改
質剤は、大手道路会社で
採用がスタート、現場で
の利用が広がりにある
ため販売を促進する。情
報・通信では5G(第5
世代通信)関連で使用さ
れる各種工程材料で成果
が出始めている。

海外展開では近年、B
CP(事業継続計画)の
観点から中国以外からの
部材調達を望む顧客が増
えているため調達ソース
の多様化・拡充に取り組
んでおり、インドや欧州
からの新規調達検討にも
取り組む中。中国・タイ
・インドネシアなどの海
外拠点間の取引も拡大し
てきている。